

# 小山市事務事業評価シート

令和4年度版

No. 2

1. 基本情報			
<1> 事業・業務名	渡良瀬遊水地のエコツーリズム推進事業		<2> 事業・業務の別
<3> 選定基準	② 事業の範囲や経費等について、市の裁量の余地がある事業		事業
<5> 総合計画基本計画での体系	大項目	5 魅力ある自然環境を守り 伝統を継承するまちづくり	<4> 継続業務・新規業務の別
	中項目	5-1 自然環境の保全・活用とエコツーリズムの推進	継続業務
	小項目	5-1-1 渡良瀬遊水地	<6> 担当部(局)
	施策	渡良瀬遊水地のエコツーリズム推進事業	総合政策部
<9> 根拠法令・計画等	渡良瀬遊水地観光地化推進5箇年計画	<10> 関連・類似事業	自然共生課
<11> 会計	一般	会計	<8> 担当係等
<12> 予算科目	2 款 1 項 7 目		渡良瀬遊水地係
<13> 実施期間	年度 ~ 年度	<14> 全体事業費	千円
<15> 実施手法	一部委託 「その他」の場合 ( )		

2. Do - 実施 -			
<16> 事業・業務の概要	コウノトリのペアによって選ばれた渡良瀬遊水地や周辺地域の素晴らしい環境を守りながら、渡良瀬遊水地のエコツーリズムの推進をはじめ、賢明な利用の積極的な取組を行うことで、交流人口増加を図るもの。		
目的	<17> 事業・業務の目的	渡良瀬遊水地及び周辺地域の地域活性化	
	<18> 事業・業務の対象	渡良瀬遊水地周辺地域の住民、渡良瀬遊水地において活動する団体、渡良瀬遊水地及び周辺地域の訪問者	
手段	<19> 令和3年度の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の管理運営</li> <li>渡良瀬遊水地におけるエコツアーの企画実施</li> </ul>	
	<20> 活動指標(活動した量や実績)	指標名	単位
		指標とした理由	渡良瀬遊水地の湿地環境の持つ魅力を対象者に認知してもらうための取り組んでいるかを計るもの
		指標とした理由	
<21> 事業・業務の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くの人が渡良瀬遊水地コウノトリ交流館を訪れ、当該施設が渡良瀬遊水地におけるエコツーリズムや情報発信の拠点施設として機能する。</li> <li>渡良瀬遊水地周辺地域の住民が渡良瀬遊水地コウノトリ交流館やエコツーリズムを認知し、必要なものだと感じられるようにする。</li> </ul>		

成果	<22> 成果指標(活動した結果得られた成果の量や実績)	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		渡良瀬遊水地コウノトリ交流館来館者数	人	計画	実績	計画	実績
		活動指標との関係や成果指標とした理由		9	6	13	10
		渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の展示等の情報発信が、対象者に必要とされているかどうかを計るもの		12	12		
資源	<23> 投入指標(投入するお金の量)	指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
		事業費等	千円	計画(予算)	実績(決算)	計画(予算)	実績(決算)
		国・県補助金	千円	16,413	8,326	12,775	11,952
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	16,413	8,326	12,775	11,952
		上記の主な用途	渡良瀬遊水地コウノトリ交流館管理運営委託費等				
		人件費	千円	15,474	15,474	15,474	15,474
		正職員	千円	7,737 × 2.0	7,737 × 2.0	7,737 × 2.0	7,737 × 2.0
		他の職員	千円	×	×	×	×

3. Check - 評価 -				
妥当性	<24> 事務事業を実施する目的や対象は妥当か?	1. 妥当である		
	理由	根拠となる渡良瀬遊水地観光地化推進5カ年計画は、本事業と同じく渡良瀬遊水地及び周辺地域の活性化を目的とするものであり、エコツーリズムの推進の過程で地域住民や渡良瀬遊水地の活動団体と協働しながら訪問者との交流を推進するものであることから、妥当であると思料する。		
	<25> 事務事業を実施する手段や実施手法は妥当か?	2. 検討を要する		
	理由	渡良瀬遊水地コウノトリ交流館における施設の管理運営と企画展やエコツーリズムの企画実施を一本の業務として委託しているが、特に企画展やエコツーリズムの企画実施は渡良瀬遊水地の専門的知識が必要であり、現状では本業務委託を受託できる団体が相当限られていると思料する。		
	<26> 事務事業の実施に対する市民ニーズはあるか?	2. 変わらずにある		
	理由	渡良瀬遊水地周辺地域の住民に対するアンケートでは、地域の自然環境や農業等の生業の魅力や都市部の住民に伝えたいとする意見を3分の1程度得ており、エコツーリズムの推進が地域住民の想いを伝える一助になると思料する。		
	<27> 今後も市が実施する事務事業として妥当か?	2. 検討を要する		
	理由	エコツーリズムの実施について、現在は業務委託により実施しているところであるものの、渡良瀬遊水地における活動団体が自主事業として実施しているものも存在しており、将来的には高い専門的知識を有する活動団体が必要に応じて地元住民等と連携協力して実施できることが望ましいと思料する。		
	有効性	<28> 事務事業の成果の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある	
		理由	渡良瀬遊水地コウノトリ交流館への来館者数は多いが、施設の貸出実績がないことから、当該施設が持つ豊かな自然環境や深い歴史を感じさせる佇まいが十分に活かされていないと思料する。	
<29> 総合計画基本計画施策への貢献度は大きいのか?		1. 大きい		
理由	エコツーリズムの推進は、総合計画に掲げられている「水と緑、自然とふれあえるまちの形成」を図る上で必要とされている「渡良瀬遊水地の賢明な利用」の最たる取組であり、基本計画施策への貢献度は大きいと思料する。			
効率性	<30> 事務事業の効率の向上の余地はあるか?	1. 向上の余地はある		
	理由	<25>のとおり渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の管理運営業務の見直し等の効率の向上の余地があるものと思料する。		
公平性	<31> 受益者負担の水準は妥当だと考えられるか?	1. 妥当である		
	理由	現在定められている渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の使用料や企画展、エコツアーの参加料等については、妥当なものと思料する。		
<32> 総合評価	2. 改善の余地はある	理由	エコツーリズムは推進するべきだが、拠点施設となる渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の利用価値について、対象者への理解促進をさらに進める必要があるとともに、管理運営体制、渡良瀬遊水地におけるエコツーリズムを実施する体制を十分に検討し、目的の達成に向けた効率化の余地があると思料する。	

4. Action - 改善 -			
事業の改善	<33> 事業の課題事業の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の土地及び建物を2030年まで無償で借用しており、その状態を今後どうするか(買取、返還、借用継続等)が最も大きな課題である。</li> <li>今後の判断のためには、対象者に対する意向調査に向けて当該施設の特性や利用価値について理解してもらう必要がある。</li> <li>また、コスト節減の観点から、当該施設の管理運営やエコツーリズムの企画実施の効率化する必要がある。</li> </ul>	

5 Plan - 計画 -			
事業の方向性	<34> 1次評価	所属長	3. 現状維持
	理由	渡良瀬遊水地における自然環境や歴史文化等、地域固有の魅力を多くの方々に伝える事により、渡良瀬遊水地の価値や大切さが理解され、同地における保全につなげるためにエコツーリズムを進めることが重要である事から、引き続き、その拠点である渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の効果的な利用方法・効率的な管理運営のあり方を検討するとともに、魅力的なエコツーリズムの企画・実施を行う事が必要と思料する。	
事業の計画	<35> 2次評価	所管部長	3. 現状維持
	理由	渡良瀬遊水地のコウノトリ交流館については、その拠点である渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の将来ビジョンを多角的な視点から検討を進めるとともに、様々な主体との協働によるエコツーリズムの企画・実施を行い内容の幅を広げることも視野に入れながら推進していく事が必要であると思料する。	
事業の計画	<36> 実施計画・今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>エコツーリズムの推進のためには拠点施設が存在が重要であることから、対象者が渡良瀬遊水地コウノトリ交流館でどのようなことができるのかを認知できるような取組を実施する。</li> <li>渡良瀬遊水地コウノトリ交流館の管理運営業務内容を精査し、より効率的な運営体制を検討する。</li> </ul>	
	<37> 活動・成果目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>渡良瀬遊水地コウノトリ交流館を利用し、地域住民や渡良瀬遊水地における活動団体と協働した交流イベント、民間事業者が当該施設を借り上げて行うイベントを実施し、対象者に当該施設の利用価値を理解してもらう。</li> <li>渡良瀬遊水地コウノトリ交流館のより効率的な管理運営を目指し、施設管理業務とエコツーリズムの企画実施業務を分割した際のコスト調査を行い、今後の運営体制を検討する。</li> </ul>	